

令和2年度第4回小牧市母子保健推進協議会（書面会議）  
意見シートとりまとめ

## 内容

### 1 報告

- (1) 小牧市子育て支援機関連携会議について
- (2) 小牧市の親子の現状から親の自己肯定感を高める取り組みについて  
～メッセージカード（サポートプラン）について～

### 2 協議事項

母子健康手帳の改訂にともなう親子健康手の見直しについて

## 意見

### 報告（1）小牧市子育て支援機関連携会議について

（林会長）

小牧市子育て支援機関連携会議は母子保健推進協議会の中心的な問題を語り合える会議ではないか。出席者や会議内容を考え、格上げの検討してはどうか。それに関連して母子保健推進協議会の会議内容をそろそろ、「性」や「自己肯定感」のことから離れて、新たな議題を策定してはどうかと提案する。「小牧市民健康づくり推進協議会」は、成人病対策に特化していくようなので、是非とも保健（病気、外傷、いじめ、自殺など）の話題へ方向転換してはどうか。

（竹内委員）

小牧市歯科医師会は妊婦歯科健診の受診率向上のため小牧市内の産婦人科との連携を強化していきたいと考えている。このような会議があるなら是非小牧市歯科医師にも声をかけていただきたい。口腔と妊婦の関係についても説明し歯科健診の必要性を認知していただきたいと考えています。

## 報告（2）小牧市の親子の現状から親の自己肯定感を高める取り組みについて～メッセージカード（サポートプラン）について～

（上圓委員）

メッセージカードの中で、『100点』というのが気になるので、最初の部分は、『完璧な』に変えてもいいのかなと思います。

（山崎委員）

資料 2-2 の保健センター・子育て世代包括支援センターで利用できるサービスの育児相談について、『子育てに関する相談を行っています』との記載があるが、『子育てに関する相談を行っています。』の方が良い。

【寝返り～お座りの頃】の『よくできたね。』『すごいね。』の句点はなくても良い。また、お子さんとの関わりについて、【はいはいの頃】が他の項目とずれているので合わせた方が良い。

資料 2-3、2-4 の保健センター・子育て世代包括支援センター・児童館で利用できるサービスについて、左詰めにした方が良い。

資料 2-3 お子さんとの関わりについて、『言葉だけでなく、行動も興味があると真似をするようになります。(日頃していることをお子さんとの関わりの中で見本となって見せてあげましょう。)]』となっていますが、この括弧はなくても良い。また、その後の『怒った時の様子が似てきたり、お子さんはよくお父さん、お母さんの様子を見ていますよ。』は上の段落と関連しているため、間をあけなくても良い。

資料 2-4 のお子さんとの関わりについて、『いろいろなことを肌で感じ、目で見て耳で聞いたことを真似したり人に伝えるようになってきたりできることが増え、コミュニケーションが取りやすくなってきたのではないのでしょうか。』とありますが、その後の文章では『色々』と漢字の表記になっているため統一した方が良い。また、『言葉でわかることが増え』『それはできること、わかることが増えてきて、色々なことに興味を持つようになってきた証拠です。』との文言があるが、資料 2-2 では『分かる』と漢字での表記なので、統一した方が良いのではないか。

(山本副会長)

メッセージカードがきれいで、見やすくなったと思います。

(林会長)

メッセージカードの内容はおおむね良しと思うが、『満点』表記はいかなものか。

(伊藤委員)

3歳児健診用の配布用裏面『就園後はこまきこども未来館・各児童館で遊ぼう』の表現は、『就園しないと遊べない』という意味で良いでしょうか。

(村瀬委員)

カラー印刷で絵もかわいいものに統一されており親しみやすいです。地区担当保健師の名前が入っているところが良いと思います。

(近藤委員)

言葉や文章、文字数などが厳選され、あったかさが伝わってきます。『お子さんとの関わり』はぜひ読んでいただきたいですね。カットが統一され読みやすく心が和んできます。

今更で本当に申し訳ありませんが、少し気になったので、お伝えします。「お子さん」「お子さま」どちらが良いのでしょうか。親しみやすく柔らかい雰囲気を考えると前者かと思いますが、手紙等では後者を使うことが多いように思います。十分に検討されての最終版ですので、どちらにされるかは一任しますので、よろしく願いいたします。

(旭委員)

とてもあたたかいメッセージ性のあるものになっていると思います。

(今枝委員)

メッセージカードは見やすくイラストもかわいくて、とても良いと思います。裏面の利用できるサービスも分かりやすく良いと思います。

## 2 協議事項

### 母子健康手帳の改訂にともなう親子健康手の見直しについて

(林会長)

ページ構成について、表紙をめくって1枚目の最初のページに『出生届済証明』のページが出てくるように要望したい。

(山本副会長)

乳幼児身体発育調査は10年に一度行われ、本来であれば今年度実施予定でした。しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大により、今年度は中止となりました。そのため、来年度実施予定となっております。

(三輪委員)

1「1歳の頃」(案)は文字が大きく読みやすいし、内容もいいと思います。

10「親子健康手帳」の特徴に、父親の子育て参加もある為、「お父さん、お母さん」でいいのではないのでしょうか。

「あかちゃんが生まれるまで」の文章の中でお父さんへのメッセージもあり、お父さんにも読んでもらえるのではないのでしょうか。

12「省令様式」では“妊婦の心と体の変化、行事など”を記入、「任意様式」では“赤ちゃんへの思い”を記入してもらおうと良いのではないのでしょうか。

ネットで調べる人が多く、多すぎる情報と中には間違った情報もあり、不安になることが多いため、「親子健康手帳」に正しく必要なことを載せていければいいと思います。お子さんにとって「オーダーメイドの親子健康手帳」になるので、ちゃんと活用していただけるようになると良いと思います。

(竹内委員)

字が大きくなり見やすくなった。

(伊藤委員)

QRコードやアドレスでの情報発信中、「アドレスの変更等で反映されなくなる」の理由について。そのような場合には、今後の増刷の際に確認を行うことで対応するなど、紙からネットへメディアが変化している現状を踏まえ、「必要最低限の掲載」の程度を考慮して進めていただきたい。

(村瀬委員)

昭和風の挿絵が変わったので親しみやすい

個人的に自分の子の健康手帳は主として成長の記録として活用していたので子どもへのメッセージを書くことはあまりなかった。(医師、保健師さんなど他の人に自分の思いを見られるのは好きではなかったのも、別のところに記載していました)メッセージ記入にこだわらず写真シールを貼る、思い出のものを書く、貼るなどの部分になると良いと思いました。

ここに記載できないとよい親ではないのかも・・・とってしまったことがあります。特に2人目の子のとき・・・

(近藤委員)

『母乳は赤ちゃんの宝物』: 母乳が出ない人もいるので、「出ない時は・・・」と気持ちが楽になるようなメッセージや試してみるとよい具体的な方法、最終的には出なくても大丈夫、粉ミルクをあげる時には母乳と同じようにお母さんのぬくもりを感じています、など母乳をあげたいけど出ない人への配慮があるとよいと思います。

1か月の頃: 他の年齢のようにサブタイトルみたいな文言があるとよいと思います。例えば『泣くのは赤ちゃんのお仕事です』『赤ちゃんは泣くことで気持ちを伝えてくれます』など。

3~4か月の頃のサブタイトルの『育児にも少し余裕が出てきた頃ですか』: 余裕がない人いき詰まりを感じている人には辛いかなと思います。例えば『「あーあーうーうー」会話を楽しみましょう』など、なしにしても良いと思います。

6~7か月の頃: サブタイトルに『そろそろ小さな歯が出てきます』など。

9~11か月の頃: 『まねっこ大好き』など。

1歳6か月の頃: 『イヤイヤ!自分で!自我がでてきます』など。

皆さんの取組に感心しています。かなりの時間と労力を要されたと思います。親子健康手帳の良さや意味を機会がある時には伝えていきたいと思っています。

(旭委員)

きちんと見直されており、より良いものになっていると思います。

(今枝委員)

メッセージを書く時間を取れない人のために、健診時の待ち時間を利用して書いてもらうのはどうでしょうか。

親子健康手帳とは関係ありませんが、赤ちゃん訪問で訪問した時に、手伝ってもらえる人がいないと分かった人に保健連絡員が健診のない月に再訪問できると良いと思います。

メッセージカードも健康手帳も良くできていると思います。